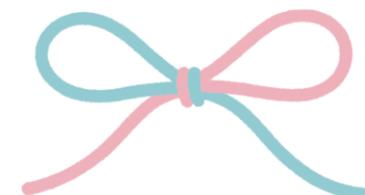


全ては、  
子どもたちの“しあわせ”のために——。



美奈子さん手作りの浴衣、乳児院から持たされたぬいぐるみと絵本(だるまさんが／かがくいひろし)に、真実告知の時に一緒に読んだ絵本(やさしいライオン／やなせたかし作・絵)、今西家に来るときに着ていた服、自分の絵が表紙になった卒園アルバム、成長の記録などが大切に保管されている —— いつか巣立つときのために ——



## しあわせ を結ぶ

あなたも愛情をつなぐ仲間に

真実告知の日、今西家では、「やさしいライオン」という絵本を一緒に読んだ。

母さん犬が子ライオンを育て、優しいライオンに育つお話を、「私たちが生活していくうちに絆が生まれていったことを重ね、一緒に生活すると親子になっていくんだな」と実感しました。将来、娘たちが家庭を持つたときにいい影響になっているとうれしいですね。

「里親って大変でしょうと言われるけれど、子どもの方が環境に慣れるのに大変なんです。里親には、専門的なアドバイスに客観的な視点、継続的なサポート、想いを受け止めてくれる支援機関や地域の皆さんがいます。だから、安心して子ども

に向き合うことができているんです。里親家庭も一般家庭の子育てと同じ。私たちが日々学び、育ててもらいました。」

### 誰かのためにできること

「里子が『私は里親家庭で育ったよ』と当たり前に話せるようになったらいいな。」と、美奈子さんは柔らかな眼差しを見せる。里親家庭が一つの家族のカタチとして暮らしていくためには、地域の理解や協力が不可欠。もちろん保育園や学校、行政も。今西さんは、「もしかしたら身近なことかもしれないと、少しでも意識してもらえたらうれしい。」と話し、こう続けた。

### 「二人でも多くの子どもに 幸せだと感じてほしい。」

子どもたちの幸せを願う守る世の中を目指すのは、私たち大人や社会に課せられた責任。全ての子どもが愛情を受け育まれるために、私たちは決して無関心であってはならない。愛された記憶は、確かな軌跡を残していく。たくさん「しあわせ」を結びながら——。